

きょうからわたしのしごとです

あが小学校 二年 川ばた みゆ

（やっ たあ。わたしにもついに米とぎのしごとがまわって来たか。うれしいな。）

わたしの家では米とぎはず、とお兄ちゃん
のしごとでした。わたしがおがあさんに、

「やッたい。」

といッてもいッても

「みゆにはまだはやいよ。もっど大きくなっ
てからね。」

とおがあさんにいわれてしまいなかなが米を
とぐことができませんでした。

ところがわたしが二年生になったある日、

おがあさんがとっぜん、

「みゆ、お米といでみる。」

といいました。わたしはうれしく、とひはね
ながら、

「うん、やッてみたい。」

とこたえました。

はじめの米とぎはわからないうことだらけ

てした。米びつからの米の出し方、米のあら
い方、水のりよう、すいはんきのスイツチ、
いつもおがあさんやお兄ちゃんが見
ていたのに、いざ一人でやってみようとす
るとぜんぜんわからなかったのでさいしょはいろ
ろなことをおがあさんにききました。

いわれたとおりにしたけれど、たきあがっ
たお米はすしかたが、たです。

つぎの日も米とぎにちようせんしました。
まだ一人でするのはこわいので、おがあさん

に見てもらいました。きのうのお米はすこし
かたかったので、きょうは水を少し多くしま
した。するとこんどはべちよべちよになりま
した。三日目はせんぶ一人ですることにしま
した。(だいじょうぶかな。きょうはおいし
いお米がたけるといいな。)と思いつながら
ないねいに米をといで、水のりようもこまかく
ちようせいしました。ドキドキしながらすい
はんきをあげると、ふっくらおいしそうな米
がたけていて、みんだえがおになりました。